

PRESS RELEASE



2026年1月28日

報道機関 各位

国内外の学生が「ポイ活」データの分析に挑む

—第2回データ分析ハッカソン成果発表会を開催—

長崎大学情報データ科学部と大学院総合生産科学研究科は、「株式会社インテージテクノスフィア」にご協力いただき、「第2回データ分析ハッカソン」を開催しています。最終日となる2月3日には、下記のとおり成果発表会を開催し、各発表者がプレゼンテーションを行った上で、優秀チームを決定します。

取材をご希望の場合は、前日までに下記お問い合わせ先までご連絡ください。

ハッカソンとは「ハック（Hack）」と「マラソン（Marathon）」を組み合わせた言葉で、参加者が独自のアイデアや視点で、短期間で集中的かつ多角的にデータ解析や開発に取り組み、その成果を競い合うイベントです。初回となった昨年度は、スーパーマーケットの顧客購買データを活用し、多彩なテーマで分析・発表が行われ、参観者からも高い評価を得ました。

今回のハッカソンでは、株式会社インテージテクノスフィアからご提供いただいたポイントサービスの利用（いわゆる「ポイ活」）に関するアンケートデータをもとに、参加者が個人あるいはグループで研究テーマを定め、データ分析を行い、課題の発見と解決策の提案に取り組んでいます。

一般的にハッカソンは1日から数日の短期間で行われますが、今回は大学院総合生産科学研究科の講義「マーケティングサイエンス特論」の一環として、2025年12月3日から2026年2月3日までの計11回の講義の中で実施しています。講義を履修する大学院生だけではなく、情報データ科学部の学生や留学生、さらに台湾の国立台北教育大学の学生など計15名が参加しています。

【成果発表会概要】

日 時： 2026年2月3日（火）14:30～16:00

場 所： 長崎大学 文教キャンパス 工学部1号館4階

東京エレクトロン デジタルネスト（演習室）（別添案内図参照）

発表テーマ（予定）：

- ・ポイント還元と保証のトレードオフ調査
- ・若者のポイント活動と将来の価値観に関する地域別調査
- ・趣味とポイ活の関連性
- ・貯めない理由に基づく新規アプローチの策定
- ・ポイ活を行う人物の特徴と購買の傾向
- ・現代大学生のポイント活用からひも解く価値観分析
- ・学生のポイントプログラムに対する選考の多様性と利用者タイプの分類
- ・店舗選択における各属性の影響度調査
- ・「大学生のポイントプログラム満足度の構造分析—因子抽出と性別差異の検討—」
- ・Strategic Marketing and Market Analysis: An STP-Based Perspective
- 「STP 視点からみた戦略的マーケティングと市場分析」（国立台北教育大学）

【案内図】



【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学情報データ科学部

教授 宮本 道子（ミヤモト ミチコ）

Tel : 095-800-4187 E-mail : mmiyamoto@nagasaki-u.ac.jp

長崎大学 情報データ科学部

事務補佐員 コリンズ 弘美（コリンズ ヒロミ）

Tel : 095-819-2573 E-mail : collins@nagasaki-u.ac.jp